

# 伊藤 ゆきひろの ちょこっとタイム



後援会便り <No.137号> 2022年 8月1日 発行

## ごあいさつ

大輪のヒマワリが、重た気な頭をもとのせせず、道行く人々を応援するかのよう。

そんな思いをよそに、再び新たな派生型を生み出したコロナウィルスが、瞬間に世界中を席卷し予想だにできなかった感染爆発を引き起こしていますが、ようやく息を吹き返した経済活動との両立を図るべく、

予防接種普及のスピードアップを願うばかりです。

さて驚く程早かった梅雨明けの後、天候不順が続いた日本と逆に、欧米では例を見ないような猛烈な暑さに見舞われ、気候変動の深刻さが浮き彫りとなっています。世界が一致団結して取り組まなければならないこの難題を抱える中、他国の領土を一方向的に攻撃し手中に収めようと卑劣な蛮行を続ける下品な大国ロシア。それでも私達は諦めず粘り強く、この民主主義を守り抜いて行かなければなりません。未来を委ねる子供達のために。民族に優劣をつけず人権を尊重し、言論の自由が保障される社会が当たり前の世界で在るために。

さて、市議会は今月臨時会を開会し、今期最終年の議会役職選挙を行います。新たな議会人事の中で引き続き、市の発展と暮らしの安心に注力して参ります。



刈谷市議会議員



【後援会事務所】	
刈谷市一里山町金山100番地 (トヨタ車体労働組合内)	
Tel	0566-36-3870
Fax	0566-36-6272
E-mail	itou@bwcom.or.jp
HPアドレス	http://y110.jimdo.com



## 歳時記

8月 6日(土) 夏土用明け

7日(日) 立秋

11日(木・祝) 山の日

15日(月) お盆・終戦記念日

23日(火) 処暑

地蔵盆(24日まで)

盛夏を遣り過ごそうと元気いっぱいのイベントが全国各地で開催されています。

コロナ禍との闘いは一進一退、次々と現れる変異株に悩まされながらも、ひとは希望を持ってコロナ後の未来に夢を託します。まずは4回目の予防接種に挑戦!

# 伊藤ゆきひろの ちょこっと情報 !!



## 刈谷 良いトコ ♪



まるで お洒落な浴衣柄のような ブルーと濃いピンクのアサガオの鉢が、この小径の果てまで続きます。心を込めた毎日の水遣りが咲かせた花の簾。さて、ここはどこでしょう?



7/1発行の<No.136>の答えは、小山町の八ツ崎公園に建つ、刈谷市で最も古い八ツ崎貝塚の歴史を今に伝える遺跡です。高台の地から見渡す未来を、祖先はどう思い描いたのでしょうか。

## "戦争と、平和への願い"への招待☆ (Chapter1)

蝉時雨の盛り、今年もまたお盆と共に終戦記念日がやって来ます。散るべきはずでなかった命が無慈悲に奪われた先の戦争、二度と起こる事は無いと油断があったのか、春先 突然のウクライナ侵襲で、改めて平和の儚さを思い知りました。

恐怖の独裁者、アドルフ・ヒトラーの狂気が引き起こした差別と迫害・虐殺の蛮行は、無責任で都合よく作られたプロパガンダをラジオや映画で流布させる事により、国民を巻き込んだ集団ヒステリーを煽りました。特定の民族を攻撃して地位も財産も自由に奪える法律を作り、信じられぬ暴挙を起こしたのは周知です。

歪んだ精神は真実を隠し捻じ曲げ、戦費捻出や支持者の人気取りの目的のため自国民をも標的にしました。労働力にならないと思われる身障者や病人・先の大戦での戦傷者等を安楽死させる法律を作り"生きるに値しない命"と決めつけ、ガス室へ送りました。宗教界から反対の声が上がり、民衆の反発を恐れ撤回した後も、医師や看護師は誤った指導者の意思を汲み野生化した残虐行為を続けました。

彼らは模範市民の誇りを持って、その後に続くホロコーストの最前線の担い手となります。善とは?悪とは?...理不尽に葬られた、数千万の人々の声はどこに。

## 8月の行事予定

8月 5日(金) 臨時会

9日(火) 来年度予算要望会派会議

17日(水) 9月議会説明会

29日(月) 自動車総連組織内議員研修会(Web会議)

31日(水) 9月議会 本会議

"まじめにコツコツ、  
即行動"  
頑張ります!!



# 7月のフットワーク

## 「刈谷スマートシティ研究会」発足と取り組みアイデアの紹介

スマートシティとは、ICT等の先端技術の活用により、都市や地域の機能やサービスを効率化・高度化し、新たな価値を創出する街づくりの取り組みです。

刈谷市は愛知県と共同し、市内企業と連携したスマートシティ化を進めるための研究会を立ち上げ、4つのプロジェクトチームを設置、30項目のアイデアを出し各企業が持つ技術を活用した実証実験を行うこととした。

### モビリティ

<ワーキングチーム>  
(株)アイシン・(株)ジェイテクト(株)デンソー  
トヨタ車体(株)・トヨタ紡織(株)・名古屋鉄道(株)  
NTT西日本(株)・愛知県・刈谷市

- ① センシング技術を用いた交差点の安全確保  
・企業社員送迎バスの共同運行と新技術の技術検証
- ② MaaSによるシームレスな交通環境の整備  
・乗降、ドア回りセンシングで得られる乗客などのデータの地域活用  
・超小型電気自動車の活用検討
- ③ 新たな移動空間の提案  
・渋滞状況の見える化



### エネルギー マネジメント

<ワーキングチーム>  
(株)アイシン・(株)ジェイテクト・(株)デンソー  
(株)豊田自動織機・NTT西日本(株)・愛知県・刈谷市

- ① 様々なエネルギーリソースやIoT技術等を活用したエネルギーマネジメント  
・J-クレジット制度を活用した市内循環モデルの構築
- ② EVおよびFCVを活用し、災害時の避難所等への電力供給  
・家庭用燃料電池を活用したデマンドレスポンスによる需給バランスの調整  
・エネルギーマネジメントのプラットフォーム構築

### 医療・福祉 ・健康づくり

<ワーキングチーム>  
(株)ジェイテクト・(株)デンソー  
トヨタ車体(株)・(株)NTTドコモ  
NTT西日本(株)  
刈谷豊田総合病院・愛知県・刈谷市

- ① 5Gを活用した救急医療分野の実証実験  
・タブレット等を活用した訪問介護、リモート診察
- ② スマートデバイスによる遠隔でのバイタル管理  
・パワーアシストスーツ、歩行訓練ロボットの高齢者施設等での実証  
・海外赴任社員やその家族が安心して受診できる診療情報等の提供
- ③ AI問診による適正診療の支援  
・福祉車両のシェアリングサービス  
・コミュニティバスなど公共交通車両を活用した病院のオンライン受付
- ④ ICT機器を活用した病院の自動受付  
・喫食データを活用した健康増進  
・スマートヘルスケア

### データ活用 ・魅力発信

<ワーキングチーム>  
(株)デンソー・JRR東海(株)  
名古屋鉄道(株)・(株)NTTドコモ  
NTT西日本(株)・愛知県・刈谷市

- ① セキュアな(安全性の高い)個人認証技術による行政サービスのスマート化  
・刈谷市情報配信アプリ「あいかり」へのIoT情報の集約による一元的な情報配信
- ② ICTを活用した新たなスポーツ観戦スタイルの実証実験  
・人流解析による混雑緩和  
・刈谷駅及び周辺での情報発信  
・データ活用のプラットフォーム設計  
・公共交通を活用した3次元都市モデル更新技術に関する実証事業

## 愛知県スマートシティモデル事業「刈谷スマートウェルネスプロジェクト」が選定されました

愛知県は、令和4年4月より県内市町村にスマートシティモデル事業の募集を行っており、刈谷市が応募した「刈谷ウェルネスプロジェクト」と岡崎市・半田市のモデル事業が選定されました。今後、その成果を他の市町村へ横展開されていくこととなります。〈6月13日公表〉  
(県の委託業務として実施し、委託額は1提案あたり1,000万円を上限)

### 【刈谷スマートウェルネスプロジェクト事業の概要】

〔推進体制〕 刈谷豊田総合病院、(株)NTTドコモ、NTT西日本(株)、パラマウントベッド(株)、(株)ジェイテクト、刈谷市

〔目的〕 医療や介護を安心して受けられる地域医療・福祉体制の充実が重要課題であり、住み慣れた地域で在宅医療・介護を一体的に受けられる環境整備が求められていることから、本プロジェクトにおいて、地域医療・介護のスマート化のモデルケースの構築を目指す。

〔実証内容〕 (1) 5Gを活用した救急医療分野のフィールド実証  
(2) スマートデバイスによる遠隔診療  
(3) パワーアシストスーツ、歩行訓練ロボット等のフィールド実証

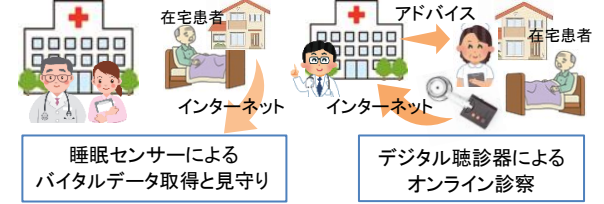
### (1) 5Gを活用した救急医療分野のフィールド実証 ⇒ 急性期の医療分野のスマート化

医師を現場まで派遣し、より早期に重症患者に対応するドクターカーにおいて、5Gを活用して救急現場のリアルタイム映像等を病院へ伝送することによる、早期治療への効果など検証し、地域の救急医療水準の向上につなげる。



### (2) スマートデバイスによる遠隔診療 ⇒ 回復期から慢性期の医療分野のスマート化

スマートデバイスで取得したバイタル情報を利用して、施設間の患者転院時等における患者情報の連携向上の効果を検証するとともに、在宅におけるリモート診療や見守りなどの実施による新たな患者・市民サービスの有効性について検証する。



### (3) パワーアシストスーツ、歩行訓練ロボット等のフィールド実証 ⇒ 医療分野から介護・在宅につながる福祉分野のスマート化

増加する介護需要に対応するとともにサービスの維持向上を図るため、パワーアシストスーツを導入し、介護現場の負担軽減、業務効率化の効果を検証する。ロボットを活用した歩行訓練と、デジタル技術による歩行状態の可視化を実施し、歩行訓練の精度向上を検証するとともに、職員の負担軽減の有効性を検証する。

